



舌は喜びたたえる。  
 体も希望のうちに生きるであろう。  
 あなたは、わたしの魂を陰府に捨てておかず、  
 あなたの聖なる者を  
     朽ち果てるままにしておかれぬ。  
 あなたは、命に至る道をわたしに示し、  
 御前にいるわたしを喜びで満たしてください。

使徒言行録 2 章 25 ～ 28 節 ダビデの詩

私たちに与えられた試練はまだ始まったばかりですが、神様が起こして下さるであろう奇跡を願い、信じつつ、1日1日を歩んで行きたいと思います。これからも祈りのうちに加えていただきますようお願いいたします。

■■■ 第1例会レポート ■■■

と き：2009年3月10日(火) 6:30pm ~ 8:30pm  
 ところ：名古屋 YMCA

今月の例会のテーマは「和漢聯句の研究」  
 始めて耳にするこの言葉に一瞬戸惑いを感じたのは私だけだっただろうか。しかし、講師のお話しが進められるにつれて、これは日本人の和歌と中国人の漢詩をシステムチックにミックスした国際的な短歌で、私のような平素不勉強なシロウトでも興味深く考えさせられるテーマでした。そこでのお話の内容と配布された資料から、先ず「和漢聯句」とは何かについて私なりに学んだことをレポートさせて頂きました。

和漢聯句は複数の作者が連歌の式目に従って和歌と漢句を読みついでゆくという極めて特異な文芸といわれています。次に例示している聯句は文禄4年(1959年)1月26日に4人の連歌師によって季節の変化を詠み継がれた作品です。

- 1. 風しるし巖のうえの嶺の松      白
- 2. 雪融溪水流 雪融けてして溪水流る      有節
- 3. 薄波帰雁影 落波 帰雁の影      南化
- 4. あしの葉そよぐ月のさやけさ      法印玄旨

見られるように和漢聯句は中国の聯句と日本の連歌が統合して出来た文芸形態です。そうして発句が和句に始まるものを和漢聯句、漢句に始まるものを漢和聯句として区別していることもあります。また、連歌が俳諧(はいかい)に変わった和漢俳諧をも含めて言います。聯句は平安末期から鎌倉中期にかけて、盛んに行なわれ連歌と結びついて和漢聯句が生じたといわれています。そうして『筑波(つくば)集』にその作品が見られ、南北朝・室町時代に五山の詩僧と公家(くげ)など、連歌師の一座としての興業が盛んになりました。また一条兼良(かねら)の『和漢篇(へん)式』などの式目もつくられ、這諧の式目のよりどころになっています。

さて、今回の3月例会では「和漢聯句の研究」で昨年10月、名古屋大学で博士号を取得された楊昆鵬(junpeng Yang-ヤン コウホ)氏を講師として招き、和漢聯句についてお話しをして頂きました。氏は中国西安の出身者で、西安外国語大学日本語学部卒業後、名古屋大学に留学され学位取得後、本年4月より京都大学に移転されるとのことです。そうして、私はこの研究が日本人と中国人両者の共同で進められているというところにも氏の研究の意義があるのではないかと考えています。

(高森敬久)

■■■ 第2例会レポート ■■■

と き：2009年3月17日(火) 7:00pm ~ 8:30pm  
 ところ：名古屋 YMCA

- 1.3月第一例会報告  
 楊昆鵬氏による「和漢聯句の研究」についてお話をいただいた。
- 2. 審議事項
  - ①国際大会に向けての「個人積立」実施の検討  
 大会期日までに16ヶ月あるのでできる月に(5,000円ぐらい)を預かり少しでも参加しやすくする事と皆で参加しよう!の気運を高めるために実施する。

- 4月例会より開始する。担当：川本
- ②チャリティーステージの件(奉仕・チケット販売状況等)  
 3/17現在チケット販売数約200枚、観客予想は180名くらいか?もう一踏ん張り
- ③CS事業 恒例「潮干狩り」の件6/20(土)  
 小尾・谷川両君欠席のため4月以降の例会にて詳細を決定していく。毎年参加するクラブメンバーに限られているので是非多数の参加を呼びかける。
- 3.4月第一例会について  
 恒例の「メネット例会」とし、当日の企画・運営はメネットさんに一任「ゲストスピーカー東海中学教諭 尾上照三氏」

## 第1例会講師紹介

尾上照三さん

東海中学 社会科教諭

学生時代は甲子園を目指し、野球部のピッチャーとして活躍。

お父様の隆治さんは戦前からのYMCA会員でアコーディオンなどの特技を生かして会員の間で人気者でした。その影響でご本人もアコーディオンの名手。

今回はその腕前を披露していただきます。

## チャリティーステージ

今期、中部の目玉企画のひとつとして計画していたワイズメンズクラブチャリティーステージが、3月21日(土)午後到大盛況のうちに開催されました。実は、直前に開いた実行委員会で集計した予測では、当時の入場者数は100名足らずにしかかなりそうもなく、大変心配していました。YMCA、ワイズメンズクラブともども、こうした企画は初めてのことで、うまくチケット売り上げに結び付けられなかったようです。それでも、我が名古屋クラブは断トツのチケット売り上げ枚数です。当日、予想より多くの入場者とな



したのは、やはりそれぞれのワイズが広く呼び掛けて頂いた成果であったと思います。感謝です。

舞台は、第一部の

紙風船による人形劇、二部のピエールによるマジックショーとも和やかで楽しい雰囲気終始し、笑いと拍手に包まれたものとなったと自負しています。多くの方々から、「良い企画でしたよ」と声をかけて頂き、ホッとしています。



それにしても、舞台設営を中心とした準備、受付業務など、ワイズの何と見事な働きぶりか。特に指示しなくても、何をしたら良いのか自分で判断し適切に作業を分担、こなしていけます。勿論、心配していた長井メンが当日最初から居られたということが大きな力となったのだと思いますが、改めて、ワイズの実働的な組織力に驚嘆し、感謝の念でいっぱいです。

準備に平行して開催した第2回中部評議会もスムーズかつ実り多い会議となり、二重の喜びでした。(谷川 修)

## 今月の聖句

「わたしはモーセと共にいたように、あなたと共にいる。あなたを見放すことも、見捨てることもない。強く、雄々しくあれ。」

ヨシュア記1：5～6

西村 清

4月は木々も芽をふき、瑞々しい、命にあふれた若葉をつけ、また花を咲かせ、いのちの勢いを感じさせてくれます。幼い子らは保育園、幼稚園に入園し、また子どもたちも小学校、中学校に、そして高等学校へと進学し、さらに大学へと入学していく。時に失敗する者もあるが、再度挑戦していく者もある。あるいは長年「住み慣れた」会社を退職し、第二の人生の出発の時でもある。

このような時に、ヨシュア記は、神が共にいて見守り、決して見放さない、雄々しく前進していくようにと励ましてくれている。エジプトを脱出し、導いてきた、そして今や約束の地、カナンを目前に、あの偉大な指導者モーセの後をうけて、ヨシュアはこのイスラエルの民を導いて進まねばならない。とてもモーセのように導くのは、自分には自信がないと、不安の中にあつたヨシュアに対して発せられた神の言葉が今

月の聖句です。

新しいことに挑戦する時は自信もないし、不安いっぱいになります。でも神様が共にいてくださる、そのことを信じて、恐れず、雄々しく前進する時、神様は必ずそれを達成させて下さる。そのような信仰を持って、次のステップへと飛躍していきたく願うのです。

ヘブライ人への手紙11章1節に「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです」と語りかけます。この「確信」という言葉は「本質」とも訳されることばです。この一番基本的な意味は「何かの下にある」ということでもあります。それでいちばん大切なことは、それが下にあるために、そのおかげで、上のものが支えられている。そのための基礎、基盤、その支えという意味にもなることばです。

木はその根っこがしっかりしていると、大きく成長するのです。建物もその基礎がしっかりなされていると、その建物は安心です。その隠れている基礎を知っている者だけが、たとえ地震がきても、安心してその建物の中にとどまることが出来るのです。

このヘブライ人への手紙に支えられ、ヨシュア記のことばに励まされて、前に向かって進み行く者でありたいと願うのです。



# Menettes of Nagoya Y's Men's Club

## 4月メネット例会ごあんない

と き 2009年4月14日(火) 18:30~  
と ころ 名古屋 YMCA

今月はメネットナイトが例会です。多数のメネットの参加をお願いします。

## BF からのお知らせ

「メンバー各位にご協力いただきましたBFの結果、切手4,500pt、現金12,600pt、計16,500ptを日本区へ送付いたしました。(BF担当 五島八郎)

### CS 年賀切手集計 現金(換算)

氏名	枚数	現金(換算)
尾関 明	2	260円
木本精之助	3	390円
飯田 和也	2	260円
加藤 明宏	11	1430円
鈴木 武二	7	910円
相馬 静香	3	390円
西村 清	10	1300円
小尾 雅彦	2	260円
久保田 啓	5	650円
谷川 修	6	780円
川本 龍資	現金	1500円
合 計	51枚	8130円

## メ ネット 例 会 レ ポ ー ト

と き 2009年3月21日(土)15:00~18:00  
と ころ 東別院会館ホール

今月のメネット会は、3月21日の中部チャリティーステージとその後の中部メネット交流会に出席しました。

ステージ前半は、メネット会と長いお付き合いがある愛実の会の仲間「紙風船」による人形劇。障がいのあるメンバーのせりふが小さな子どもには少し聞き取りにくいかなぁと心配しましたが、大丈夫!ちゃんと理解して、身を乗り出して観ていました。手作りの暖かいステージで、観終わった後優しい気持ちになりました。後半はムッシュ・ピエールさんのマジック。ミスターマリック氏に絶賛されたテクニクはもちろん、その話術に終始笑いっぱなし。マジックのお手伝いで壇に上がった男の子も楽しかったと思いますが、観ている私たちはもっと面白かった。あっという間に時間が過ぎました。お天気にも恵まれ、出演者、観客・スタッフみんなの心がひとつになったステージでした。公演後には、メネット交流会が行われました。参加者14名。久しぶりに長井メネットのお顔も見られ嬉しかったです。多分こういう会には初参加の坂倉メネットをはじめ、名古屋グランパス・東海ワイズからもご参加いただきました。時間の関係であまりゆっくりお話しできなかったのは少し残念でしたが、今後もこういうクラブを超えたメネットの交流会を持ちたいと思っています。(加藤朱美)

## 『ワイズメンの賢い話』(No159)

### 『十戒(第七戒)』

「十戒の第七戒は“姦淫してはならない”だよ。「エ!“姦淫”ってどういうこと?」。「姦淫というのは、結婚している男女が、その相手以外の人と性的な肉体関係を結ぶことだよ。「それが駄目なんて当然じゃないか」。「そうだね。私たちは当然だと思って、世の中を見ると、これが原因でいろいろと深刻な問題が起き

ているようだ。神さまが人間を創造された時には、はじめから男と女を創造されて、お互いに仲良くして、その関係がすべての人と人との関係の基本となるようにされたのだよ。「そうか。お互いに姦淫することなく、夫婦の関係が円満であれば、友人同士の仲も良くなるよね」。「そうだよ。たとえ、姦淫などしなくても、夫婦の仲は大切にしなければならないのだよ。七戒には、そういう意味もあるのだよ」。

(寺田仁計)

## ハッピーバースデー

メン  
4月21日 塩田 保君  
22日 黒川 博英君  
メネット  
4月5日 谷川 智子さん

## Happy Wedding Anniversary

4月  
12日 木本精之助・洋子夫妻  
26日 小尾 雅彦・昌代夫妻

## IBF

切手 塩田 保君40pt  
谷川 修君50pt  
西村 清君45pt  
鈴木 武二君110pt  
渡辺 慎吾君20pt

現金 川口 恵さん1000pt  
川本 龍資君1000pt  
久保田 啓君1000pt  
五島 八郎君1000pt  
相馬静香さん3000pt  
塩田 保君1000pt  
谷川 修君2000pt  
水谷 治君2000pt